

ほめ方、叱り方

◎ 小さいことでもきちんとほめてあたりまえのことですが、どんな子どもでも叱られるよりはほめられたいと思っているものです。だから、ほめられるようなことをできるだけしようとしているのです。けれど子どもの心とは裏腹に現実には「ガミガミ叱る」「ああしなさい、こうしなさい」とうるさい」という子どもの声をきくのはなぜでしょう。それは一般に叱られることというのは別に努力しなくても自然やってしまうことであるのに、ほめられることというのは意識的に努力しないとできないことがほとんどだからです。

例えば友達とのけんかですが、本人にいじめるという意識がなくても結果的にそうなってしまふことがよくあります。けれど暮のいそがしいときに家の手伝いをするのは、おこたでテレビを見ていたい気持を押えて意識的に努力しなければできないことです。そういう意識的な努力というのは、いつでもできるものではないのです。

だからお母さん、ほめるチャンスがあったらどんな小さなことでもきちんとほめてあげてください。それだけの努力を子どもはしているのですから。叱るたねは石ころのように沢山ありますが、ほめるたねは宝石のようにいつでもみつかるといっわけではありません。

◎ 叱ったあとすぐほめられますか
いいことをしたらほめる。悪いことをしたら叱る。どんな親でもやっているあたりまえのことですが、これがきちんと出来ないことが意外に多いものです。

例えば、兄弟げんかをして弟にこぶをだしてしまいお母さんに叱られた直後、その子が弟と一緒に遊んだり、面倒をみたりしている姿を見たとします。お母さんはさっきのことがあり叱ったばかりなのでそれをすぐにほめてやるのができない心理状態です。ついそれくらいのこと



ほめてやるわけにはいかないと考えて知らん顔をしがちなのです。でも子どもは悪いことは悪いとして子どもなりにみとめ、ほめられようと努力しているのです。親としてもせっかくのほめるチャンス、子どもをいっ方へ伸ばすチャンスを逃してしま

す。ほめる、叱るというのはもともと嬉しいからほめ、腹が立つから叱るわけですが、大人は気分の転換が子どもほどすなおにできないのですから叱ったあとほめることができにく

いようです。親はその点を承知してきちんと叱りきちんとほめる様にしてください。

◎ 叱ると怒る

叱ると怒るとは違う。単純に感情を爆発させて「怒る」のはしつけにならない。親は教育的な配慮をもつて冷静に「叱る」べきだといった主張がきかれます。「怒る」のはため、「叱る」のはいいと頭から思い込んでいて無理に怒りをおさえて無理に笑顔をつくって「叱る」といった変なケースもあります。子どもは母の笑顔を信じてよいのか言葉の方を信じてよいのかとまどうものです。子育ては生身の親と子のぶつかり合いの中で成りたつ日々変化する生きた現実です。演技ではないのです。

◎ 身近なことから

子どもの頭を押えて「おはようございます」とさせる親。しかし親の頭は下らない。自分が頭を下げて挨拶すれば子どももするようになる。できたらほめてやる。このように日常生活の中にもほめるチャンスはあるのですから身近かなことに目を向けてみてください。

◎ ほめる叱るの順序

ほめると叱るの順序は叱るのが先では効き目が少なく、ほめるのが先で叱るのを後にしないと子どもは親の言うことを素直に受け入れようとしないものなのです。

叱るとほめるの順序をさかさまにしていいのでしょうか。

都留市文化協会

記録委員会

都留市文化協会では、全理事が広報委員会、記録委員会、調査委員会の三分野で、活動をしていきます。前号で、広報委員会の活動内容を紹介させて頂きました。今回は、記録委員会の活動についてお知らせいたします。

記録委員会委員長

- 澤田洋一 (合唱)
- 副委員長 宮井寛二 (郵趣)
- 記録会計 重原千恵子 (監事)
- 委員 安富信吉 (菊花)
- 佐藤弘子 (絵画)
- 新田松子 (箏曲)
- 奥秋勝己 (写真)
- 米山源之助 (俳句)
- 水庭初枝 (合唱)
- 望月幸太郎 (舞踊)

委員 藤江やす子(舞踊)
西村照子 ()
遠藤静江(副会長)
趣旨 各部門、及び文化協会事業の記録
内容 「文協白書」の作成
「つる文化(収録集)」の発刊

二つの大きな記録集を作成することにより、各部門の活動状況が明白になり、お互いの研鑽ができ、また資料を基にして次年度への活動指針が生まれ、本市の文化活動の概要を知ることが出来ます。
「つる文化」の収録集は本年で三号になりますが各部門共、ますます趣向をこらしてあり、より充実した収録集を年度末には発刊できると思います。
都留市の文化活動の一端を知る上でも、多くの市民の方々にも目を通して頂きたいと願っています。

FC.V.I.P 部員募集

平成3年度に山梨県社会人サッカー3部リーグに登録し、平均年齢23歳という若さを生かし、創部1年目にして、2部に昇格することが出来ました。



平成4年度から2部リーグで試合を行うにあたり、更に戦力アップを図るため、今春、新卒で中学、高校時代サッカーを行っていた人、サッカーに興味がある人、多数お待ちしております。

なお、マネージャーの募集も行っていますので、健康でサッカーに興味がある人、お待ちしております。

問合せ先 高部光春 ☎(43)3246